

実態を踏まえた記載例（案）

【法人の長の理念や運営上の方針・戦略等を法人の長によるメッセージの次に表示する方法】

1. 法人の長によるメッセージ

・・・・・

2. 法人の長の理念、運営上の方針・戦略等

当法人は、・・・・・を理念としています。

また、運営上の方針として、・・・・・を定めています。

3. ~以下、省略~

【当事業年度の主な業務成果・業務実績を冒頭に記載する方法】

1. 当事業年度の主な業務成果・業務実績

・・・・・

2. 法人の長によるメッセージ

・・・・・

3. ~以下、省略~

【TCFD のフレームワークに沿ってサステナビリティに関する情報を記載する方法】

7. 持続的に適正なサービスを提供するための源泉

(9) サステナビリティに関する方針及び取組の概要

①ガバナンス

サステナビリティに関する課題は、○○委員会を設置して管理しており、・・・・・

②戦略

当法人では、地球環境保護のため、○○の方針を掲げ、××に取り組んでいます。

・・・

また、人材の多様性を確保するため、・・・

③リスク管理

サステナビリティに関するリスクを適切に識別・評価するため・・・・

④指標及び目標

当法人では、〇〇の方針を掲げ、・・・・・令和××年までに△△%以上を達成することを目指としています・・・・

【財務諸表と財政状態及び運営状況の法人の長による説明情報とをまとめて表示する方法】

12. 財務諸表に関する法人の長による説明情報

＜財務諸表、財政状態及び運営状況の法人の長による説明情報＞

(1) 貸借対照表

(単位：〇〇百万円)

資産の部	金額	負債の部	金額
流動資産		流動負債	
現金及び預金		運営費交付金債務	
有価証券		引当金	
その他		その他	
固定資産		固定負債	
有形固定資産		資産見返負債	
投資有価証券等		債券及び借入金	
その他		引当金	
		その他	
		負債合計	
		純資産の部	
		資本金	
		資本剰余金	
		利益剰余金	
		評価・換算差額等	
		純資産合計	
資産合計		負債純資産合計	

財政状態

当事業年度末における資産は、・・・・となっています。

また、・・・・により、負債が前年度末比で〇〇円減少しています。

(2) 行政コスト計算書

(単位：○○百万円)

	金額
損益計算書上の費用	
経常費用	
臨時損失	
その他調整額	
その他行政コスト	
行政コスト合計	

運営状況

当事業年度の行政コストは、・・・・により、前年度比○○円増加しました。
特に、○○セグメントにおいて・・・・となりました。

(3) 損益計算書

(単位：○○百万円)

	金額
経常費用	
業務費	
一般管理費	
財務費用	
その他	
経常収益	
運営費交付金収益等	
自己収入等	
その他	
臨時損失	
臨時利益	
その他調整額	
目的積立金取崩額等	
当期総利益	

運営状況

・・・・

(4) 純資産変動計算書

(単位：○○百万円)

	資本金	資本剰余金	利益剰余金	評価・換算	純資産合計

				差額等	
当期首残高					
当期変動額					
その他行政コスト					
当期総利益					
その他					
当期末残高					

財政状態と運営状況との関係

当事業年度の純資産は、行政コストが〇〇円増加した結果、・・・・となりました。

(5) キャッシュ・フロー計算書

(単位：〇〇百万円)

	金額
業務活動によるキャッシュ・フロー	
投資活動によるキャッシュ・フロー	
財務活動によるキャッシュ・フロー	
資金にかかる換算差額	
資金増加額（又は減少額）	
資金期首残高	
資金期末残高	

キャッシュ・フローの状況

業務活動によるキャッシュ・フローが、前年度比〇〇円増加しました。これは、〇〇業務に係る支出が・・・・により減少したことによります。

(参考) 資金期末残高と現金及び預金との関係

(単位：〇〇百万円)

	金額
資金期末残高	
定期預金	
現金及び預金	